

# 経営レポート 工業

発行：豊中市役所 市民生活部 商工労政課

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号 TEL(06) 6858-2189

FAX(06) 4865-2058

<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/> (産業振興のページ)



## ものづくり企業の連携づくりの場がスタート

～とよなか・ものづくりフォーラムの報告～

豊中で事業を営まれているものづくり事業所に、これまでよりさらに一步踏み込んだ支援を目的として、「とよなか・ものづくりフォーラム」がスタートしました。

技術開発や新製品開発、取引先や販路の拡大などに積極的に取り組もうとするものづくり中小企業の連携相手や支援機関との出会いの場として既に2回開催しました。今号では次回のお知らせとこれまでの報告をします。

### 【次回のお知らせ】 第3回 とよなか・ものづくりフォーラム

日時：平成18年(2006年)12月7日(木) 午後7時～9時

会場：豊中商工会議所 (阪急 岡町駅 西口 下車すぐ)

→ 詳しくは、同封のチラシをご参照ください。多数のご参加お待ちしております！

### 第1回 (10月6日 午後7時～ 市民会館 集会室)

■出席：ものづくり事業所 15社(18人) 支援機関(行政・関係機関・専門職他) 13機関(15人)

#### <第1部> 講演会

「ものづくり技術のこれから～金属加工分野を中心に～」をテーマに北口嘉亮さん(大阪豊能地域中小企業支援センター 技術巡回アドバイザー)から、府立産業技術総合研究所での技術指導のご経験や支援機関の活用方法について講演していただきました。

#### <第二部> 交流会

一回めとあって、参加企業の皆さんも少し緊張し、戸惑いながらも、会場で当日参加企業リ

ストを片手に、あちこちで自己紹介がスタートしました。

■参加者からは、「近くで信頼できる取引先を探している。交流会には興味があるので、今後も参加したい」「次回は参加企業の扱う製品や技術・設備などをリストに追加して欲しい」「初めから多くを期待していない。まずは顔を出して人間関係をつくりたい」などといった声がありました。



## 第2回 (11月7日 午後7時～ 市民会館 会議室)

■出席:ものづくり事業所 10社(10人) 支援機関(行政・関係機関・専門職他) 8機関(9人)

### <第一部> 講演会

「レーザー技術の展開と連携は金属加工に役立つか?」をテーマに大阪大学の兼松泰男さん(イノベーションセンターベンチャーラボラトリー部門教授)から、新たな技術として注目を集める「レーザー加工」についての分かりやすいお話と、大阪大学での産学連携の状況についての講演でした。産学連携のご経験から、「研究開発していく際にはまず、『製品として市場に出せるものを出す』などの目標を明確にすること」といったアドバイスがありました。

### <第二部> 交流会

二回めは、前回も参加していただいている方も多く、少しリラックスした雰囲気でした。

前回のご意見を踏まえ、当日参加企業リストに主な製品、技術・設備の項目を追加しました。二回めで早くも、参加企業間での取引のお話を

されている様子もうかがえました。

■参加者の声 「継続して、続けることが大事」「もっと交流の時間を増やして欲しい」「支援機関としても注目している」「今回の参加者リストが改善され、取り扱っている製品や、技術などが記載されていたのでとても参考になる」



### ■事業所への訪問ヒアリングにご協力をお願いします。

このフォーラム開催と並行して、市では市内事業所の現在の経営状況や課題などを把握するため、平成14年度の「工業実態基本調査」で回答していただいた結果をもとに訪問させていただいていますので、ご協力をお願いします。

## 平成18年度 工業事業所支援アドバイザー派遣事業 活用事例報告①

様々な課題の解決に取り組みたい事業所へ、市が専門家を派遣する「工業事業所支援アドバイザー派遣事業」を活用し、2社が中小企業向けの環境マネジメントシステム「エコアクション21の取得」に取り組みました。

今号ではその第1弾として株式会社柏木商会をご紹介します。

### エコアクション21の取得

### 株式会社 柏木商会

#### ●エコアクション21(EA21)取得のきっかけ

昨年12月にダンボール組合での、EA21の講習会に出席し、地球環境問題に取り組まなければならないと感じたのがきっかけです。

①当社製品のダンボールは内需型のため、国際規格でなくてよい ②ISOに比べ、取得や維持にかかるコストが安い、の2点からEA21を選びました。

#### ●取得に向けて

20～40歳代の社員6名が3日間の講習会に

参加し、責任者1人と実務担当者5人体制にしました。4月スタートで、9月までに取得するよう計画づくりから始め、電力、水、産業廃棄物係など、6人で分担しました。

担当者を多くしたのは、6年前にISO9001(品質管理の国際規格)を取得した時の経験から、サポートする人を多くして責任者の負担を減らすこと、また社内で、取り組みがスムーズに周知されることをねらったことです。

EA21では作らなくてよい、となっている

マニュアルですが、システムを維持管理していくためには、手順の統一や、引継ぎの際に実質的には必要なので、作成しました。

### ●審査について

事前うちあわせでは、書類の不整合がないよう、審査員とメールで1週間ほどやりとりをしました。

可否の判定をするだけのISOの審査とは違って、EA21は審査時に、審査員から改善のためのアドバイスをうけることができます。

ISOを取得していること、薬品関係の取引先があることから、「厳しくします」と審査人に言われたのですが、それでも予想以上にアドバイスが多く不安になりました。しかし不整合にあたる事項はなく、無事認証取得することができました。

通常1年～1年半かかるシステム構築を3ヶ月でやった点は優秀と評価していただきました。

### ●苦労した点

作業面では、日常のゴミの分別やその他のエネルギーのデータの拾い出しに苦労しました。

その他では、市に提出する環境関係の申請書類の作成に時間がかかりました。

よりスムーズな申請のために次の3点があればと、市に希望します。

- ①環境関係申請書類の一覧表・自社に該当する書類を検討・確認でき、添付書類にもれがなくなる。質問するときにも便利である。
- ②各申請書類の記入見本
- ③環境関係申請書類についての説明会開催

### ●まとめ

環境、品質、仕事、どの分野でも「何を」「どうするか」具体的な方法論が大事だと実感しました。

「環境に優しく」するのは、大変です。よいことをしているのに、大変だということにジレンマを感じたこともあります。

環境のために努力する事業所が取り組みやすくする行政からの支援があれば、地球環境問題への取り組み、省エネなどもより推進されると思います。

#### 取り組みメンバーの声

- データの収集がたいへんだった。
- 実生活にも節約の意識が生かされている。
- 環境のことを考えるキッカケになりよかった。
- 分別が大変。きりが無いと思うときもある。
- いろいろな物を節約するきっかけになった。
- 社の規模が大きいので、水道、電気、ガス等の数値変動の幅は少ないので、地味な活動を続けていく中での、全員のモチベーションの維持と高揚が今後の課題だと思う。



## 支援アドバイザーから

### 宇田吉明さん（エコアクション21 審査人）

株式会社 柏木商会は、既にISO9001の認証取得していることもあり、EA21の要求事項をすぐに理解され、6月の支援スタートから5ヶ月間で認証取得という順調な進行状況でした。

ここで、読者の皆さまにEA21についてご紹介します。

#### ■EA21の概要

EA21は、地球温暖化などの環境問題や、資源を有効利用する循環型社会をめざそうという世界的な動きを背景に、1996年、環境省（当時環境庁）が策定し、2004年度に認証登録制度に移行したものです。

規模の小さな事業者も積極的に環境問題に取り組んでほしいとの主旨で、分かりやすいガイ

ドラインで示されています。

実際の取り組みは、①省エネ（光熱費削減）、②廃棄物削減（歩留向上）、③排水対策（節水）が必須で、いずれもコストダウンにつながります。

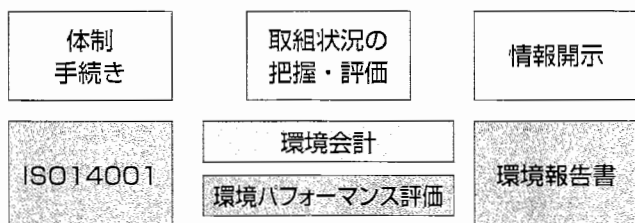
#### ■EA21の構成

EA21は「環境経営システム」と「環境活動レポート」とで構成されています。

「環境経営システム」として、PDCA（Plan - Do - Check - Action）サイクルによって、先に述べた3つの取り組みを行い、設定した環境における目標の達成をはかります。

何事も企業経営に共通することですが、このPDCAサイクルを使いこなして継続的な改善ができるかどうかは企業の力量となります。

## エコアクション21の構成



色部分を統合した簡易マネジメントシステム

また、「環境活動レポート」では、環境方針や目標、取り組みの結果と評価などを公表することになりますが、これはISOよりも、E A

21が評価されている点です。そのため、最近では、E A21をグリーン調達基準に含める大手企業が多くなっています。

### ■リスクマネジメントもできるE A21

E A21は、自社の環境リスクを評価し、有効な予防策を講じ、万一、事故など重大なリスクが発生した場合は、利害関係者に情報公開、開示などを適切に行うことを要求しています。

株式会社柏木商会もこのことを十分理解されていますので、改善とリスクの予防で効果のあるE A21のモデル企業となることでしょう。

## 株式会社柏木商会



代表者：代表取締役社長  
柏本 聡之

所在地：利倉東1-14-30

電話：6863-6621

創業：大正14年

資本金：1,500万円

従業員数：17名

業務内容：ダンボールケースの設計開発、製造及び販売

主な設備：自動裁断機・3色フレキソ印刷機・ロータリーダイカッター・ホルダーグループ

会社紹介：製品のダンボールケースは大手製薬会社や食品製造業を主体に供給しています。

2000年には、ISO9001を取得し、また昨年6月には、最新型のダンボールケース生産設備を導入し、品質向上と生産性アップを図っています。

納入地域は北海道から九州までありますが、特に大阪・豊中を中心に近郊地域のお客様にきめ細かいデリバリーを実施しています。

また、納品先に、医薬・食品会社が多いので、工場内の防虫管理も行うなど、衛生面においても十分な配慮を行っています。

## 【豊中市工業事業所支援アドバイザー派遣事業】

経営の刷新や生産工程の改善など、様々な課題の解決に取り組みたい方へ、専門知識や経験を有するアドバイザーを派遣します。

【課題例】 生産工程の改善 品質管理 経営・財務分析 コストダウンの実施 環境マネジメントシステムの構築 ITの導入・情報化への取り組み 人事システムの構築など

【対象】 中小企業基本法の「中小企業者」に該当する事業所（法人・個人は問いません）

【費用】 無料

【回数】 5回まで

【申込み】 商工労政課 助成係 TEL：6858-2189

## 「アシスト借り換え融資」の受付は平成19年3月31日までです

現在利用中のアシスト300（緊急特別事業資金）の残高を借り換えることのできる「豊中市特別借換事業資金融資」をあっせんしています。受付は平成19年3月31日までです。

お問い合わせ・ご相談は、商工労政課 助成係 電話6858-2189